

石巻日日新聞

石巻日日新聞社
〒986-0874
石巻市双葉町8番17号
電話 0225-95-5231
ファックス 0225-94-4720
郵便振替口座 02240-3-4424

©石巻日日新聞社 2015

 **Hibi-net**
http://www.hibishinbun.com
info@hibishinbun.com

石巻市

命を守る津波防災サイン

整備へ試行 実験開始 土地勘なくとも一目瞭然

震災の津波で大きな被害を受けた石巻市は、防災の情報や避難先の標識といった防災サインの整備を進めている。今年3月に策定した基本計画を基に、先日には土地勘のある市民や初めて市内を訪れる観光客の意見を聞く試行実験を実施。とくに津波避難の啓発や避難目標地点を示す標識は全国で標準化されたものがなく、最大被災地である石巻からサインを広める考えだ。

最大被災地から発信

防災サイン基本計画は、震災の教訓や地理的特性を踏まえ、津波の記憶のない人も被災せず、避難の意識を日常的に学ぶことが基本的な考え方。現地調査や住民からの意見聴取などを経て策定した。基本計画では長く残る「みち(道)」に着目。震災の津波浸水深をもとに、実際に避難で使われる可能性がある道を「避難のみち」、浸水の実績から津波の恐ろしさを後世に伝える「記憶のみち」、防災と

まちの活性化をつなぐ「にぎわいのみち」の3つを設定し、それぞれの特性に応じたサインを計画することとした。特に「避難のみち」はピクトグラム(絵文字)を用いた①注意・警告②避難情報③避難誘導④避難先のサインを配置。浸水の危険性の高い地域には①または②のサインを置いて迅速な避難を促し、浸水域外にはさらに安全な地点への避難を促す仕組みだ。



防災サインのデザイン案に対し、市民や観光客にアンケートを実施。目立つ青色(手前)は石巻独自のものだ

市は防災サインの試行実験として7月24日、NPO法人防災デザイン研究会に委託して旧石巻消防署中央出張所前、石巻駅前で、若い世代や市来訪者へのアンケートを実施。津波避難啓発や避難目標地点を示す標識のデザイン案を提示し、それが何を意味するか、避難場所を記した地図が分かりやすいかどうかを尋ねた。デザイン案には、同研究会が石巻向けに作成した避難啓発のサインも。緑色を基調とした四角い防災標識が多い中、より注意を引くよう丸の中に人、波、高台を青色で表したデザインとなっている。市は今月にも地域住民対象に調査を実施。集まった意見をもとに年度末をめどに実施計画を策定し、順次、サインを設置していく。市防災推進課の亀井一彦課長は「将来に向け、津波の記憶のある人もそうでない人も命が助かるサインを整えたい」と話した。

かぼちゃで祝う10周年

道の駅上品の郷

坂井おとなこども歯科

TEL 222-4618

坂井内科胃腸科

 **ビル・リ**
石巻